

## 【参考資料 3】

### 第 2 回仙台塩釜港カーボンニュートラルポータル協議会 議事録（意見と事務局回答）

開催日時：令和 4 年 9 月 9 日（金）13:30～15:00

開催場所：TKP ガーデンシティ仙台 ホール 21AB

事務局説明及び質問等	協議結果及び事務局回答
<p>■ 仙台塩釜港 CNP 協議会設置要綱の変更 ⇒協議会構成員等に、先進企業 5 社を追加することについて審議。</p>	<p>【結果】 協議会設置要綱の変更について承認頂いた。</p>
<p>■ ワーキンググループについて ⇒ワーキンググループの構成員について審議。</p>	<p>【結果】 ワーキンググループの構成等について承認頂いた。</p>
<p>■ 温室効果ガス排出量の推計方法 ⇒仙台塩釜港における温室効果ガス排出量の推計方法について審議。</p> <p>【質問①】 港湾ターミナルを出入りする車両について、輸送車両による排出量を推計することであり、ロジスティックセンター等は含まれないという理解で良いか。</p> <p>【質問②】 推計の基準年について、新型コロナウイルス感染症により産業が停滞している可能性を考慮した設定とすべきではないか。</p>	<p>【結果】 温室効果ガス排出量の推計方法について承認を頂いた。</p> <p>【質問①⇒回答】 輸送車両による排出量を推計することとなり、ロジスティックセンターでの排出量は含まない。</p> <p>【質問②⇒回答】 新型コロナウイルスの影響前の 2019 年も考慮し、基準年次の設定について検討を行う。</p>
<p>■ 水素・燃料アンモニア等の需要推計方法 ⇒仙台塩釜港における水素・燃料アンモニア等の需要推計方法について審議</p> <p>【質問①】 各企業に水素・燃料アンモニアの導入計画は聞かないのですか。</p> <p>【質問②】 2030 年及び 2050 年の燃料使用量が不明な企業の推計方法は。</p>	<p>【結果】 水素・燃料アンモニア等の需要推計方法について承認を頂いた。</p> <p>【質問①⇒回答】 ・ヒアリングシートにおいて確認は実施する。 ・計画が不明な企業については、現在の燃料使用量を基に、マニュアルの換算係数を用いて推計を行う予定である。</p> <p>【質問②⇒回答】 現在の使用燃料が全て水素等に転換した場合のポテンシャルとして推計を行う。</p>
<p>■ アンケート調査の実施について ⇒アンケート調査の実施方法について審議</p> <p>【質問①】 調査企業数は。</p>	<p>【結果】 アンケート調査の実施、実施方法について承認を頂いた。</p> <p>【質問①⇒回答】 ・現時点で約 100 社程度を想定している。</p>